

Ⅲ 振興局別の特徴

1 道央（稲作）地域①：空知、上川、留萌

- ・農業集落数は上川が1,354集落で最も多く、次いで空知、留萌の順となりました。また、5年前に比べて上川のみ減少しました。（図17）
- ・地域資源を保全している農業集落数は、空知、上川は「農業用排水路」が最も多く、留萌は「農地」が最も多くなりました。（図18）

図17 農業集落数の推移

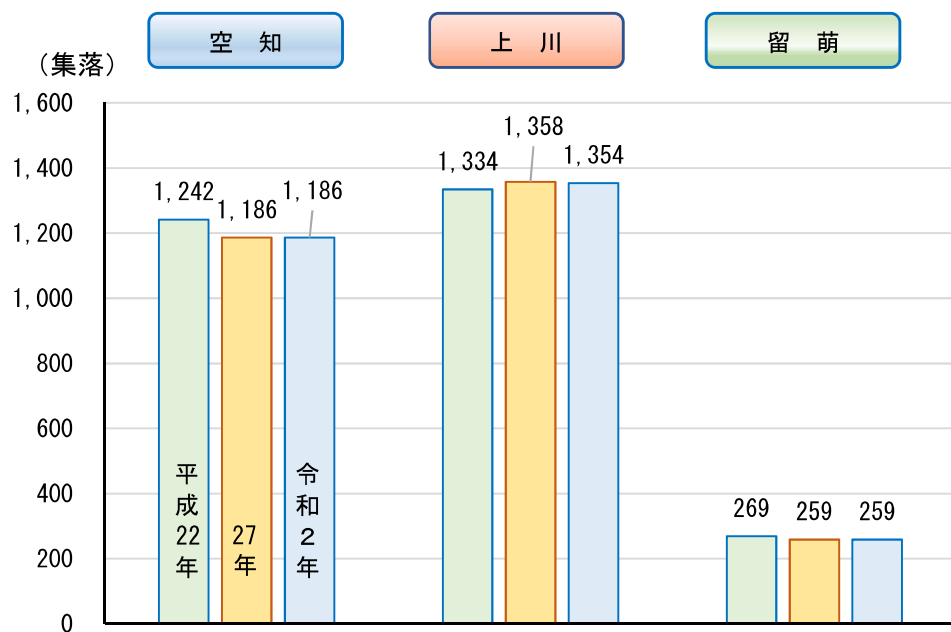
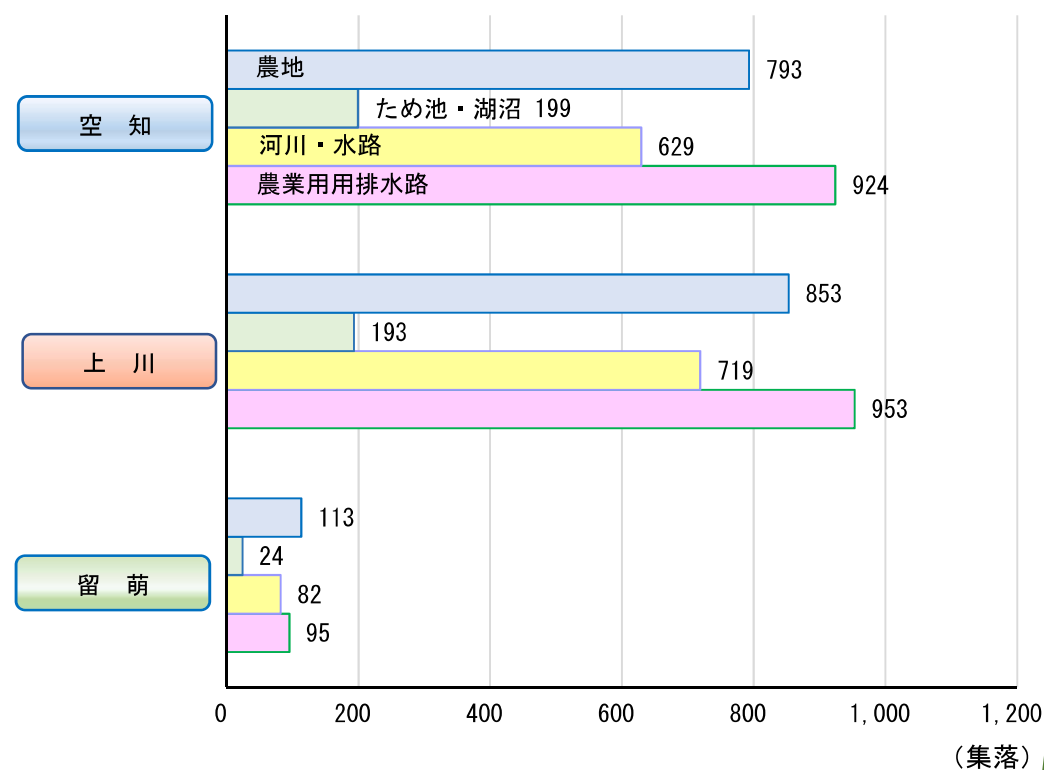


図18 地域資源を保全している農業集落数

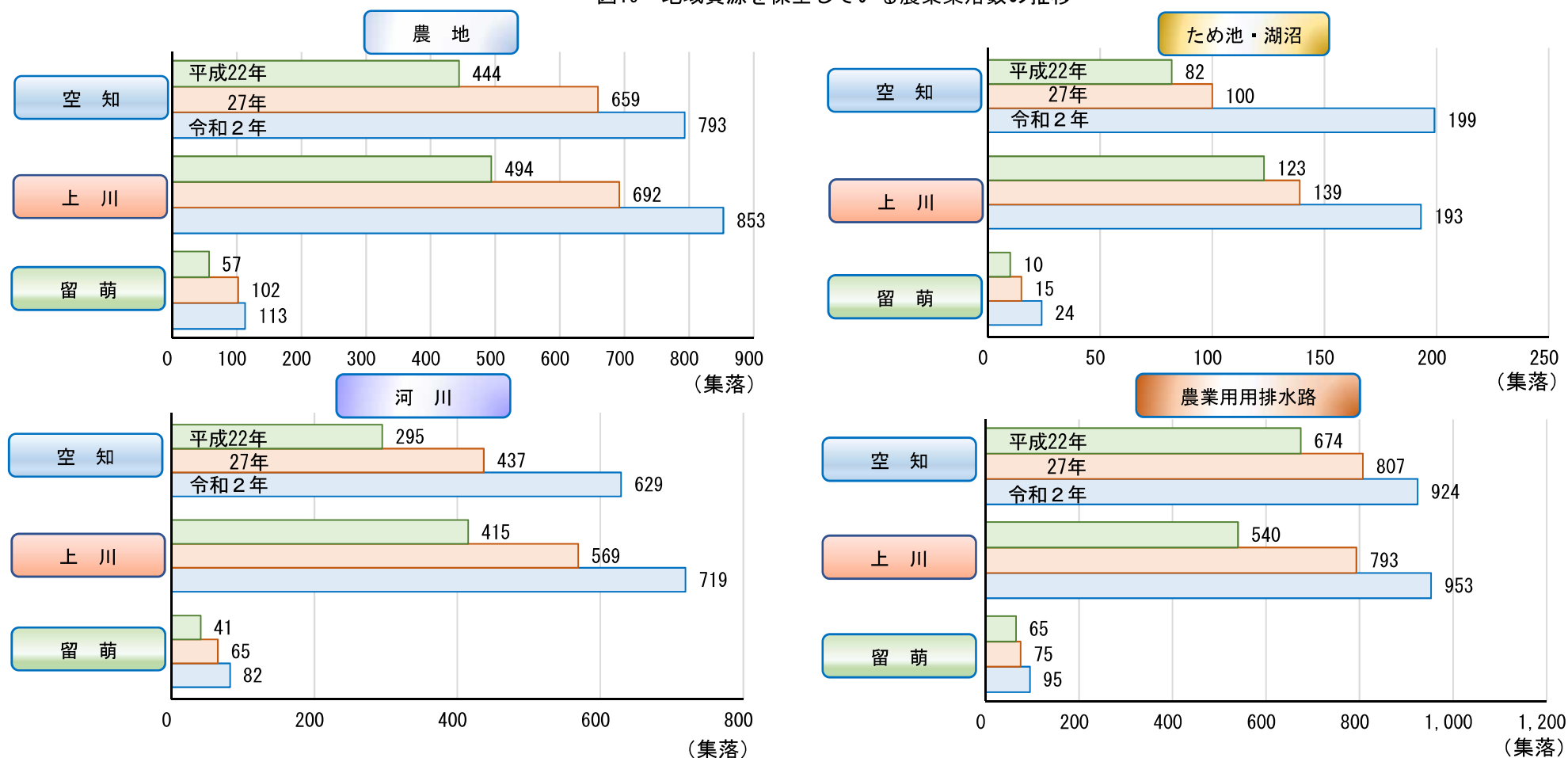


Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

1 道央（稲作）地域②：空知、上川、留萌

・地域資源を保全をしている農業集落数は5年前に比べて、3振興局とも「農地」「ため池・湖沼」「河川」「農業用排水路」の全てで増加しました。（図19）

図19 地域資源を保全している農業集落数の推移



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

1 道央（稲作）地域③：空知、上川、留萌

- ・農業集落数を寄り合いの回数規模別にみると、空知は6～11回、上川は3～5回、留萌は「寄り合いがない」が最も多くなりました。（図20）
- ・過去1年間の寄り合い議題別農業集落数は、空知は「環境美化・自然環境の保全」、上川、留萌は「農業集落行事の実施」が最も多くなりました。（図21）

図20 寄り合い回数規模別農業集落数の構成割合（令和2年）

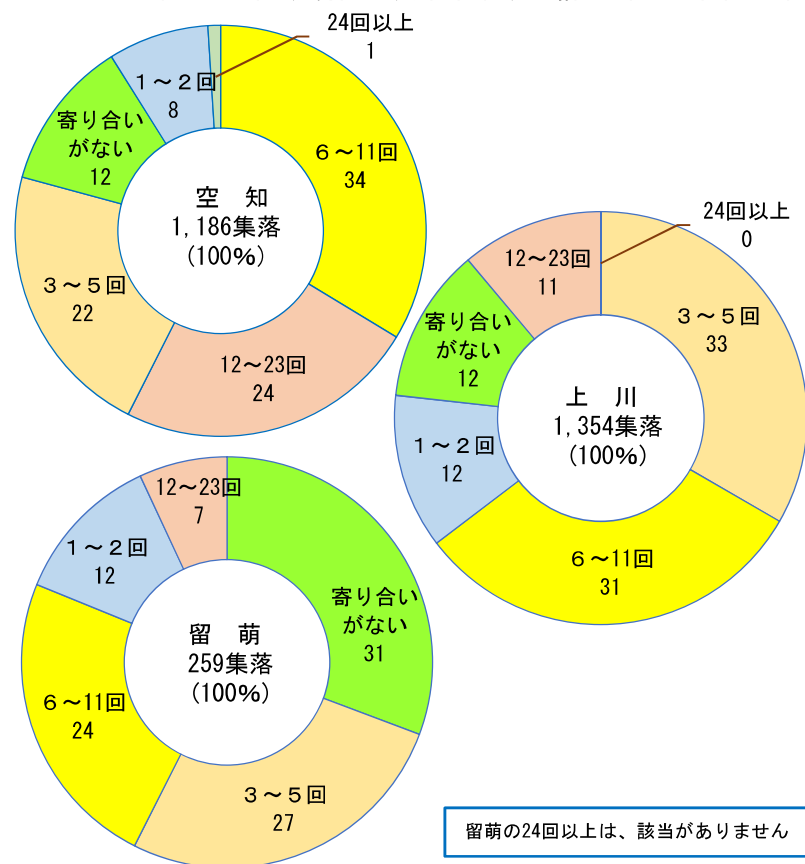
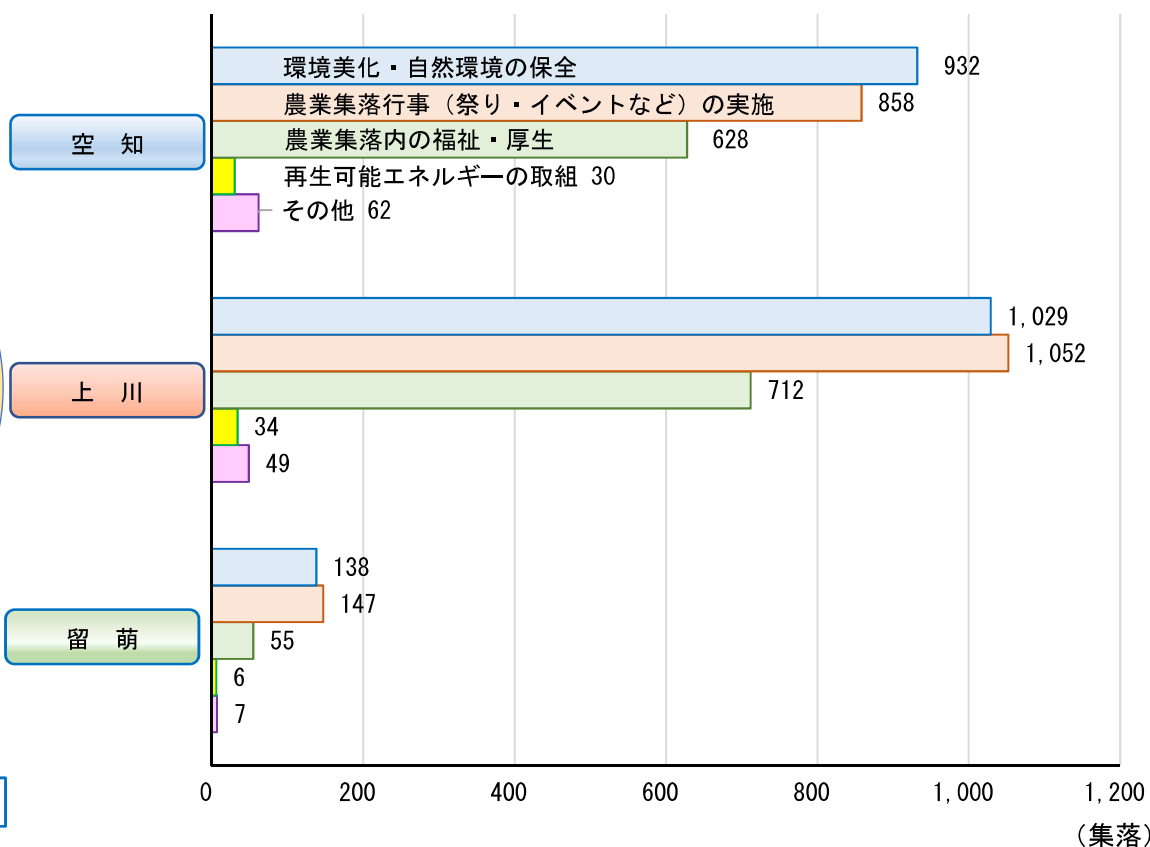


図21 過去1年間の寄り合い議題別農業集落数（令和2年）



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

2 道央（稲作・野菜）地域①：石狩、胆振／道央（軽種馬）地域①：日高

- ・農業集落数は石狩が376集落で最も多く、次いで胆振、日高の順となりました。また、5年前に比べて石狩のみ減少しました。（図22）
- ・地域資源を保全している農業集落数は、3振興局とも「農業用排水路」が最も多くなりました。（図23）

図22 農業集落数の推移

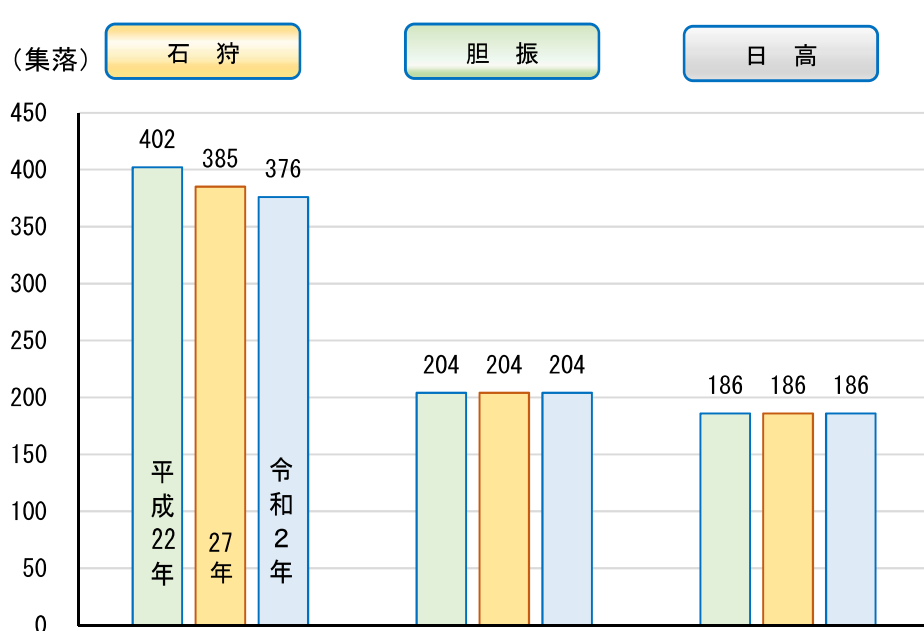
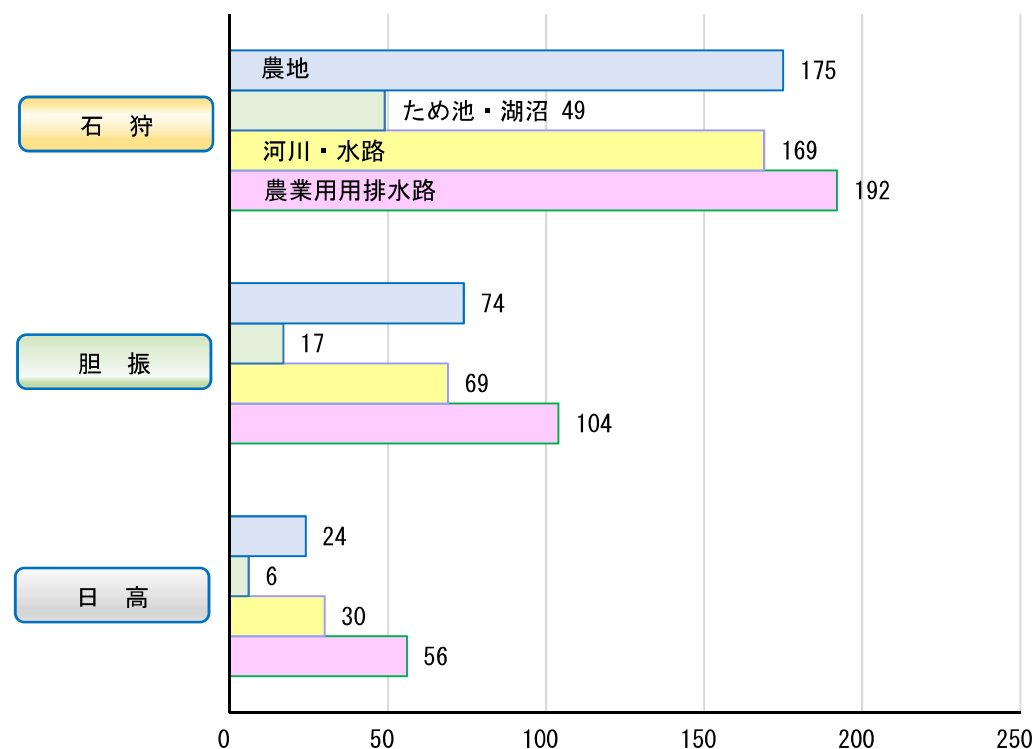


図23 地域資源を保全している農業集落数

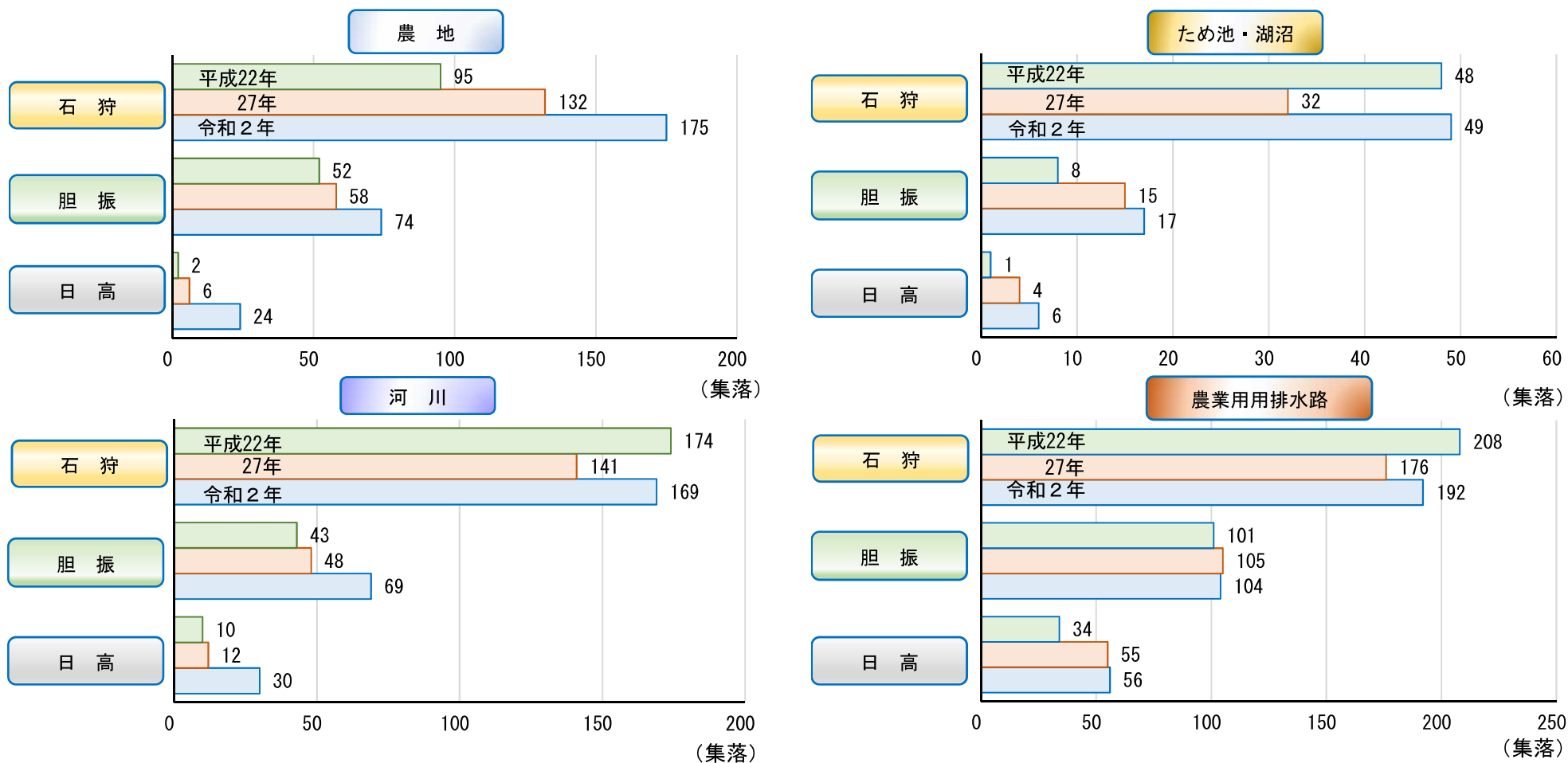


Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

2 道央（稲作・野菜）地域②：石狩、胆振／道央（軽種馬）地域②：日高

・地域資源を保全をしている農業集落数は5年前に比べて、胆振の「農業用排水路」は減少しましたが、その他の「農地」「ため池・湖沼」「河川」「農業用排水路」の全てで増加しました。（図24）

図24 地域資源を保全している農業集落数の推移



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

2 道央（稲作・野菜）地域③：石狩、胆振／道央（軽種馬）地域③：日高

- ・農業集落数を寄り合いの回数規模別にみると、石狩は6～11回が最も多く、胆振、日高は3～5回が最も多くなりました。胆振は5回以下が72%となりました。（図25）
- ・過去1年間の寄り合い議題別農業集落数は、石狩は「環境美化・自然環境の保全」、胆振、日高は「農業集落行事の実施」が最も多くなりました。（図26）

図25 寄り合い回数規模別農業集落数の構成割合（令和2年）

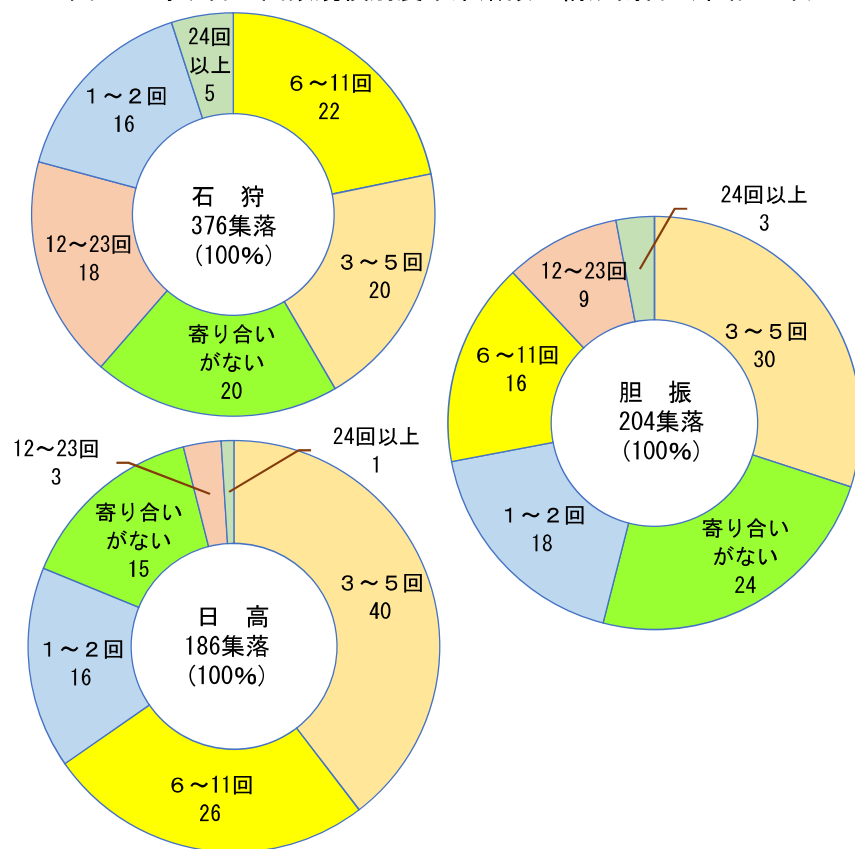
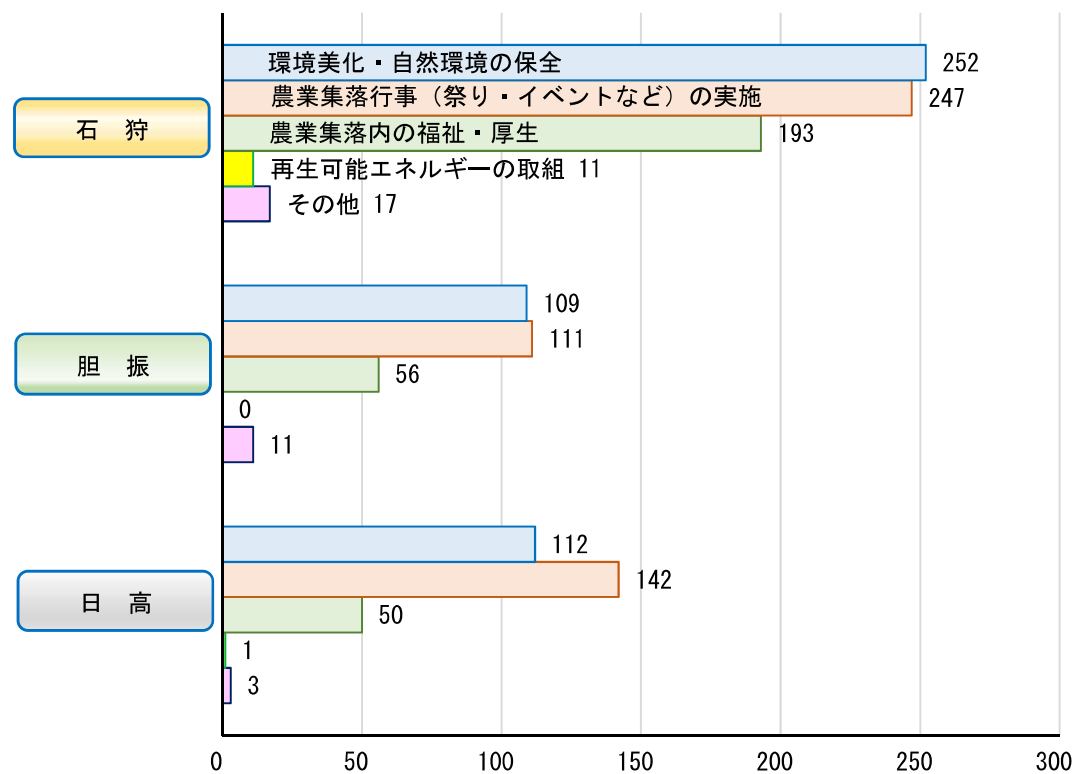


図26 過去1年間の寄り合いの議題別農業集落数（令和2年）



（集落）

Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

3 道南地域①：渡島、檜山、後志

- ・農業集落数は後志が562集落で最も多く、次いで渡島、檜山の順となりました。また、5年前に比べて3振興局とも変動がありませんでした。（図27）
- ・地域資源を保全している農業集落数は、3振興局とも「農業用排水路」が最も多くなりました。（図28）

図27 農業集落数の推移

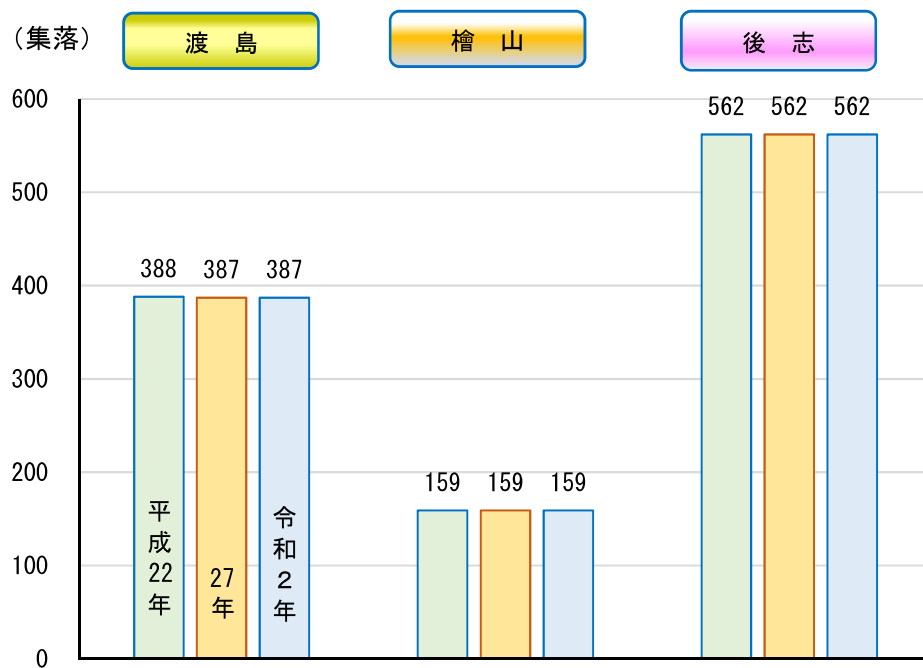
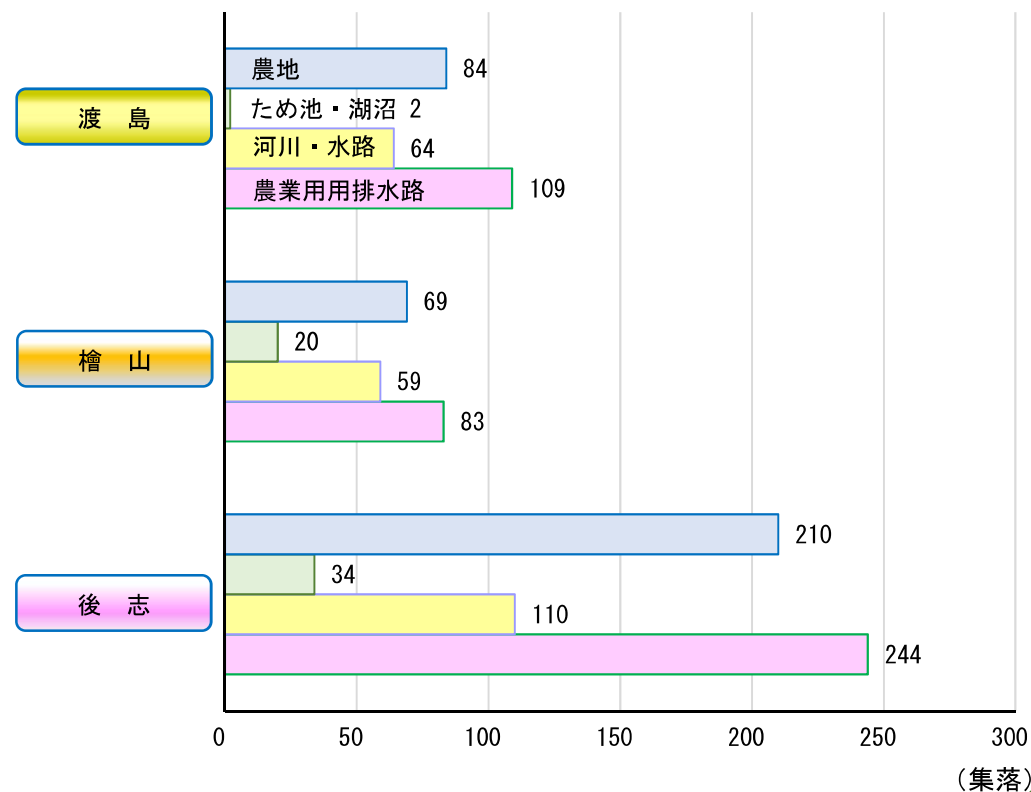


図28 地域資源を保全している農業集落数

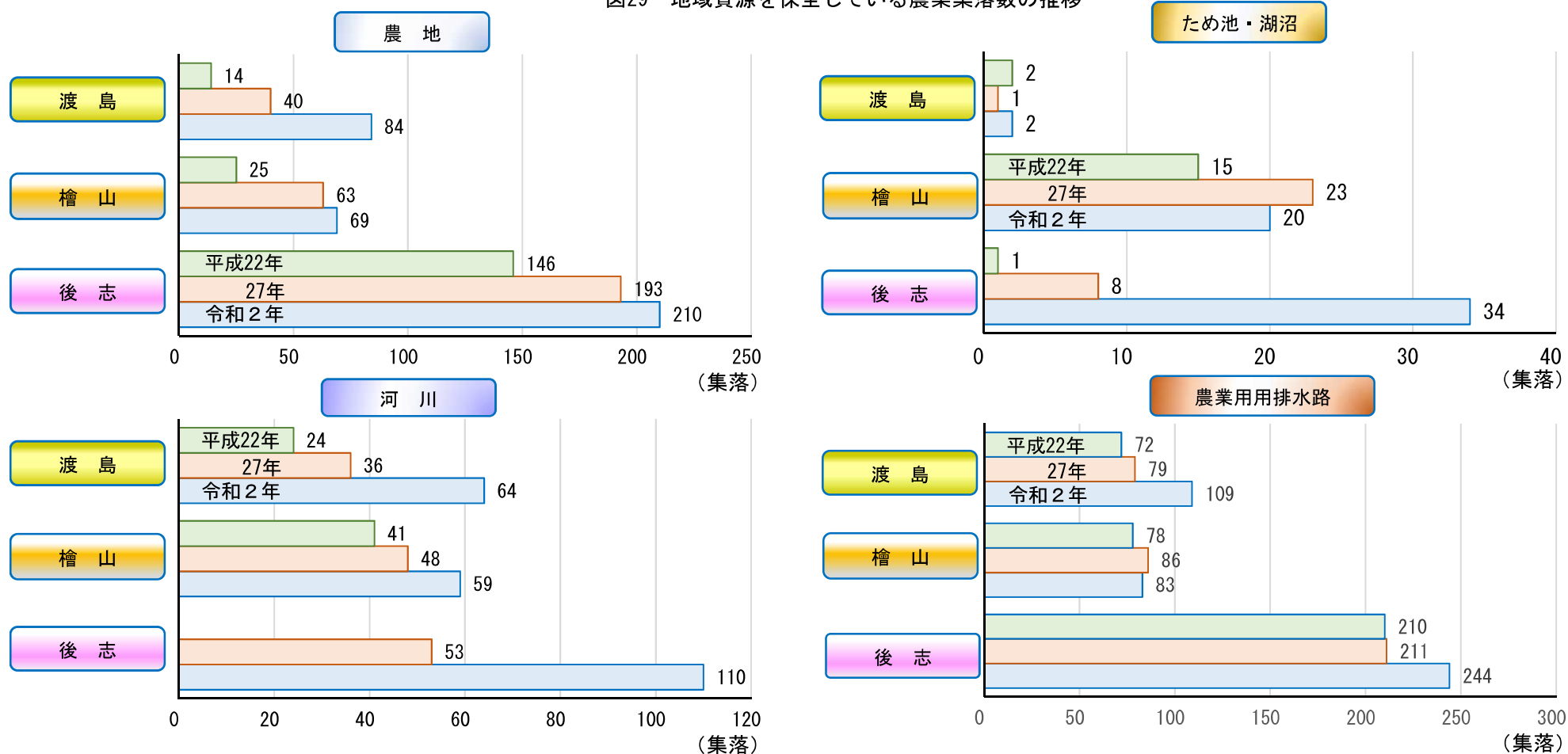


Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

3 道南地域②：渡島、檜山、後志

・地域資源を保全をしている農業集落数は5年前に比べて、檜山の「ため池・湖沼」「農業用排水路」は減少しましたが、その他の「農地」「河川」「農業用排水路」の全てで増加しました。（図29）

図29 地域資源を保全している農業集落数の推移



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

3 道南地域③：渡島、檜山、後志

- ・農業集落数を寄り合いの回数規模別にみると、3振興局とも3～5回が最も多くなりました。（図30）
- ・過去1年間の寄り合い議題別農業集落数は、渡島は「環境美化・自然環境の保全」、檜山、後志は「農業集落行事の実施」が最も多くなりました。（図31）

図30 寄り合い回数規模別農業集落数の構成割合（令和2年）

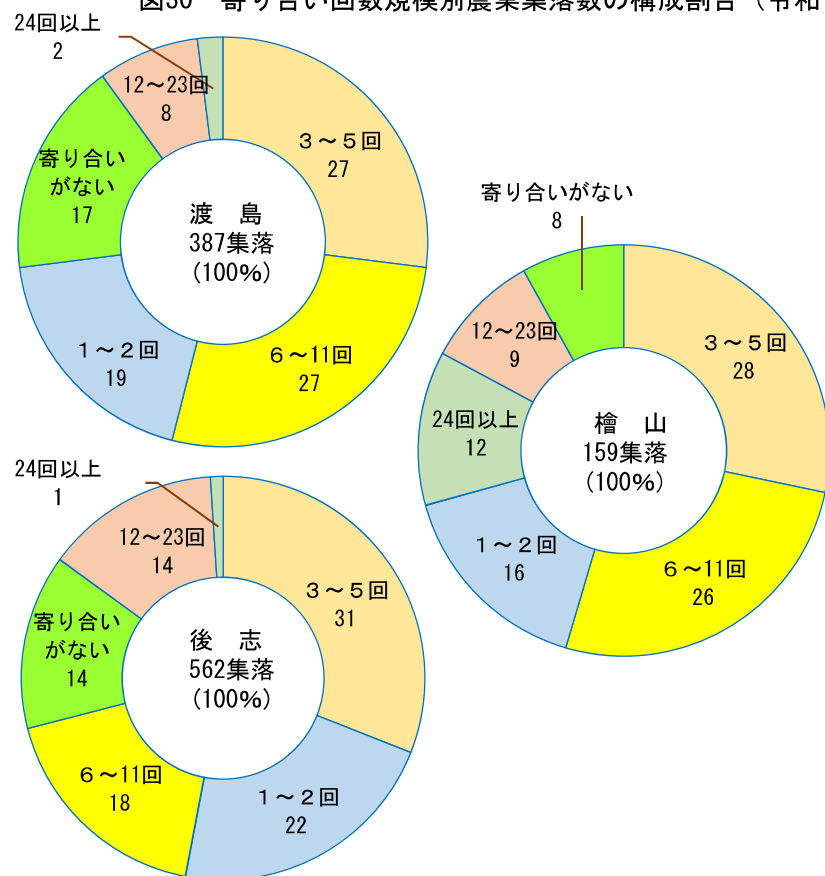
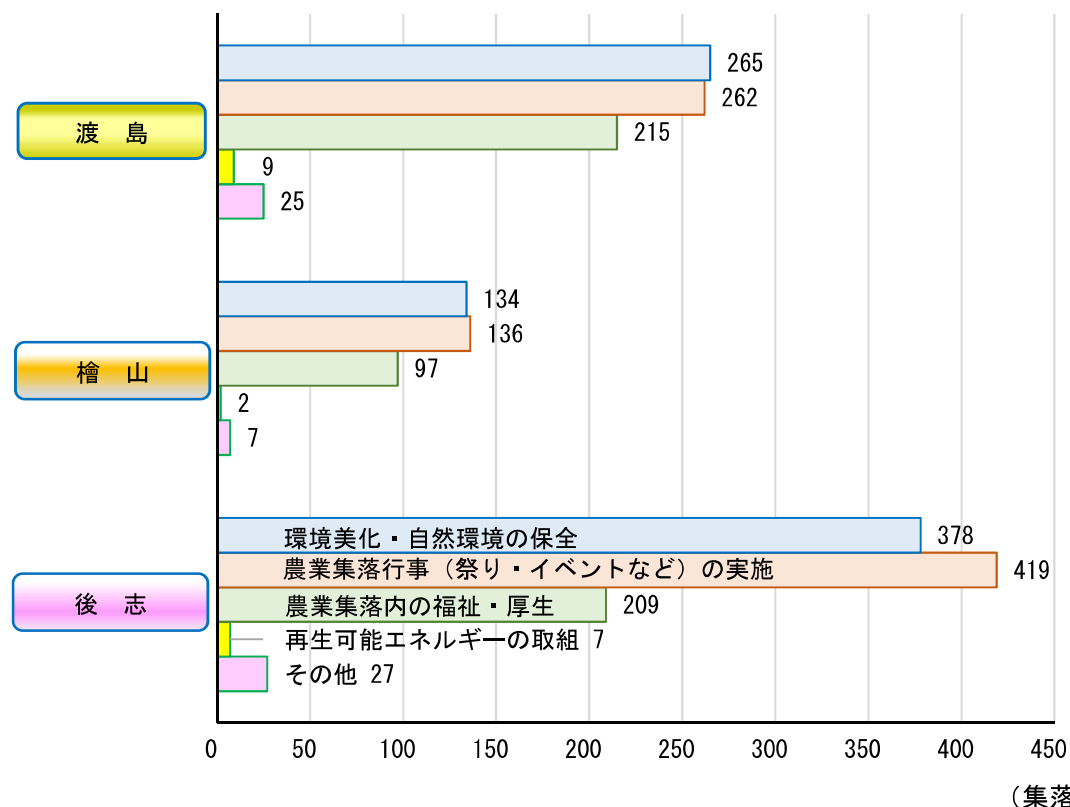


図31 過去1年間の寄り合いの議題別農業集落数（令和2年）



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

4 道東（畑作）地域①：オホーツク、十勝

- ・ 農業集落数はオホーツクが474集落、十勝が1,092集落となりました。また、5年前に比べてオホーツクで2集落減少しました。（図32）
- ・ 地域資源を保全している農業集落数は、両振興局とも「農地」が最も多くなりました。（図33）

図32 農業集落数の推移

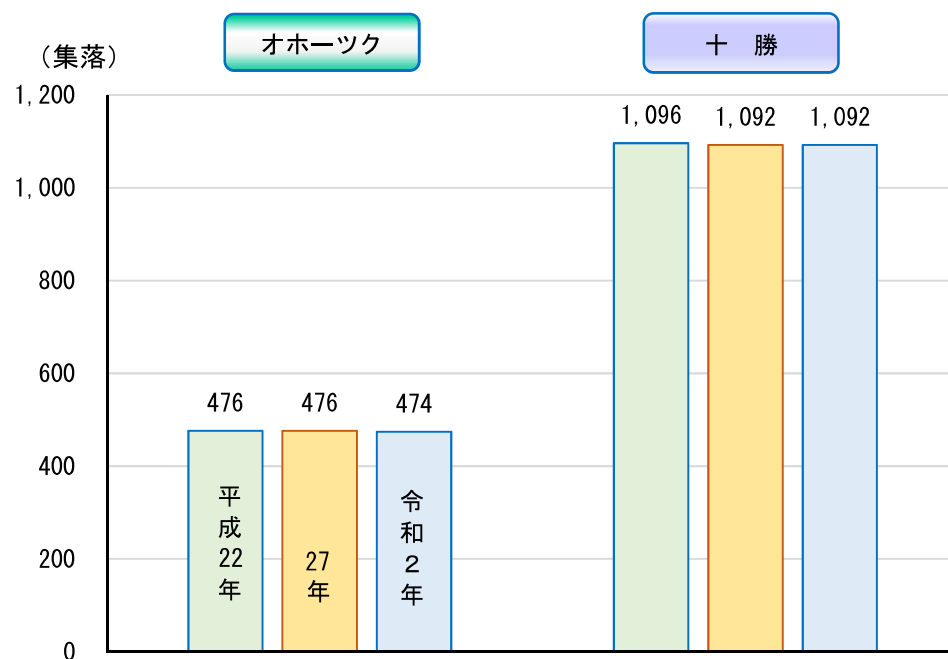
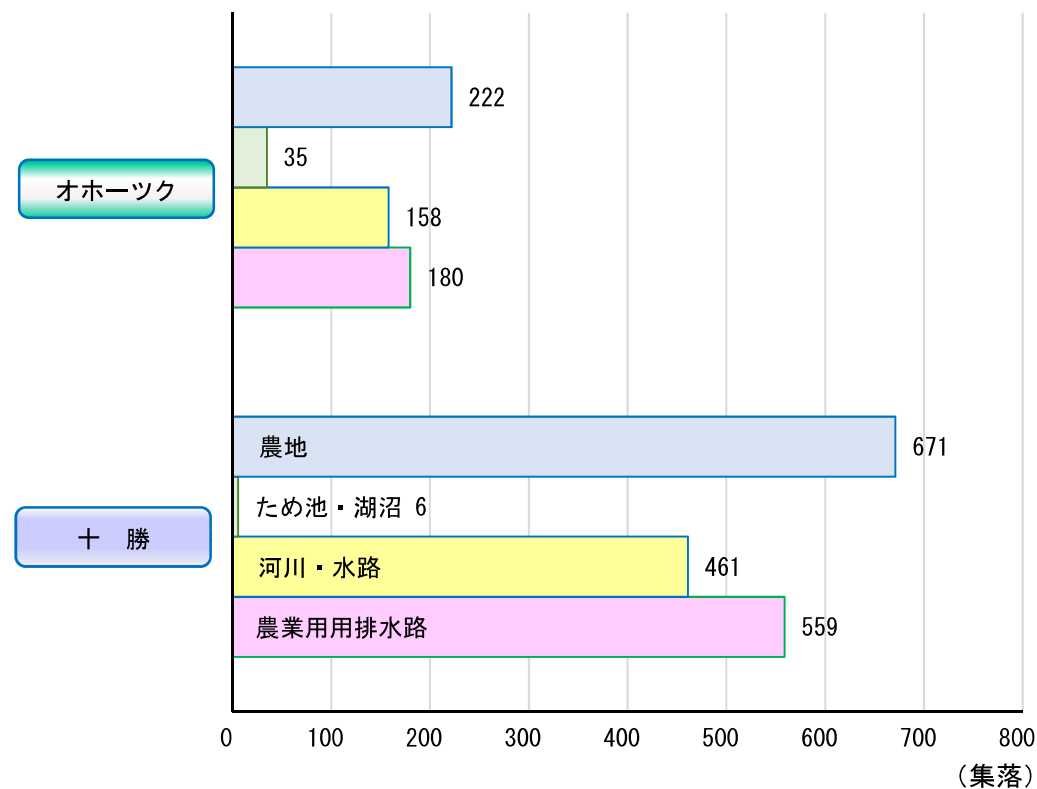


図33 地域資源を保全している農業集落数

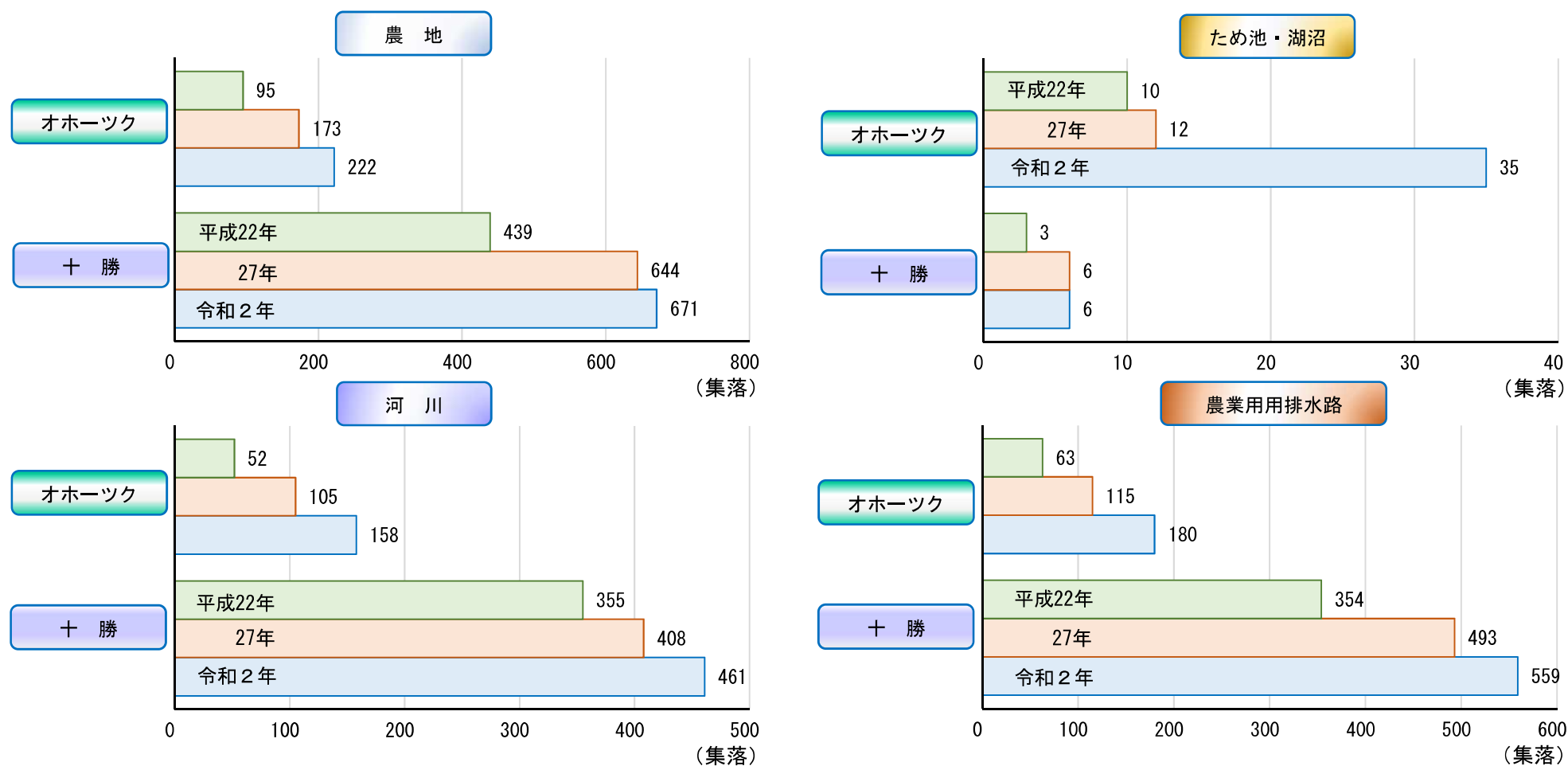


Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

4 道東（畑作）地域②：オホーツク、十勝

・地域資源を保全している農業集落数は5年前に比べて、十勝の「ため池・湖沼」は変動がありませんでしたが、その他は「農地」「ため池・湖沼」「河川」「農業用排水路」の全てで増加しました。（図34）

図34 地域資源を保全している農業集落数の推移



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

4 道東（畑作）地域③：オホーツク、十勝

- ・ 農業集落数を寄り合いの回数規模別にみると、両振興局とも3～5回と6～11回の合計が50%以上を占めました。（図35）
- ・ 過去1年間の寄り合い議題別農業集落数は、両振興局とも「農業集落行事の実施」が最も多くなりました。（図36）

図35 寄り合い回数規模別農業集落数の構成割合（令和2年）

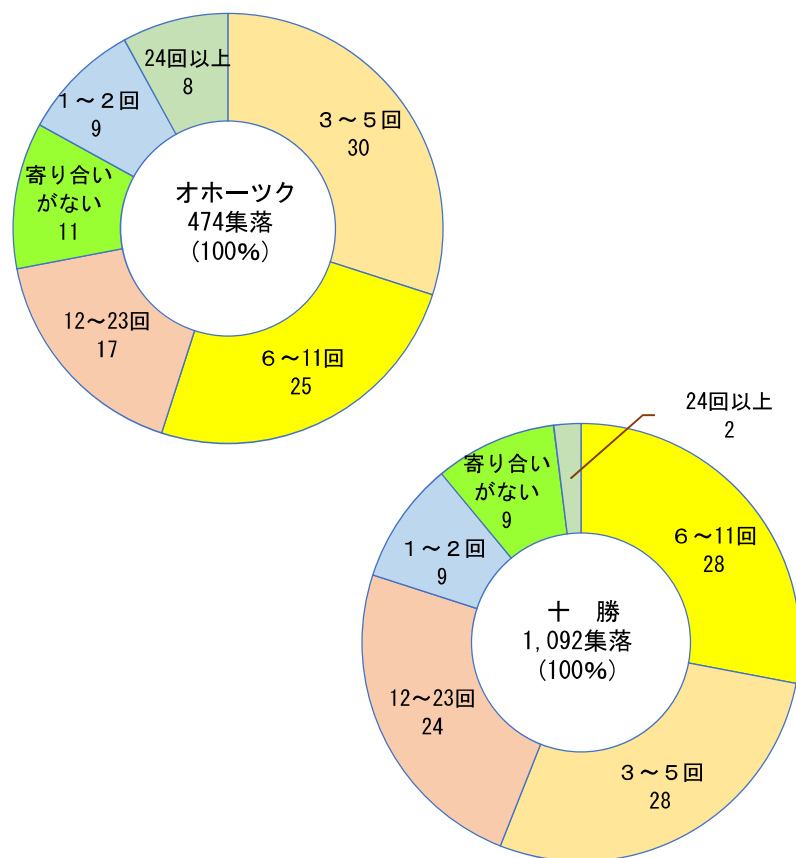
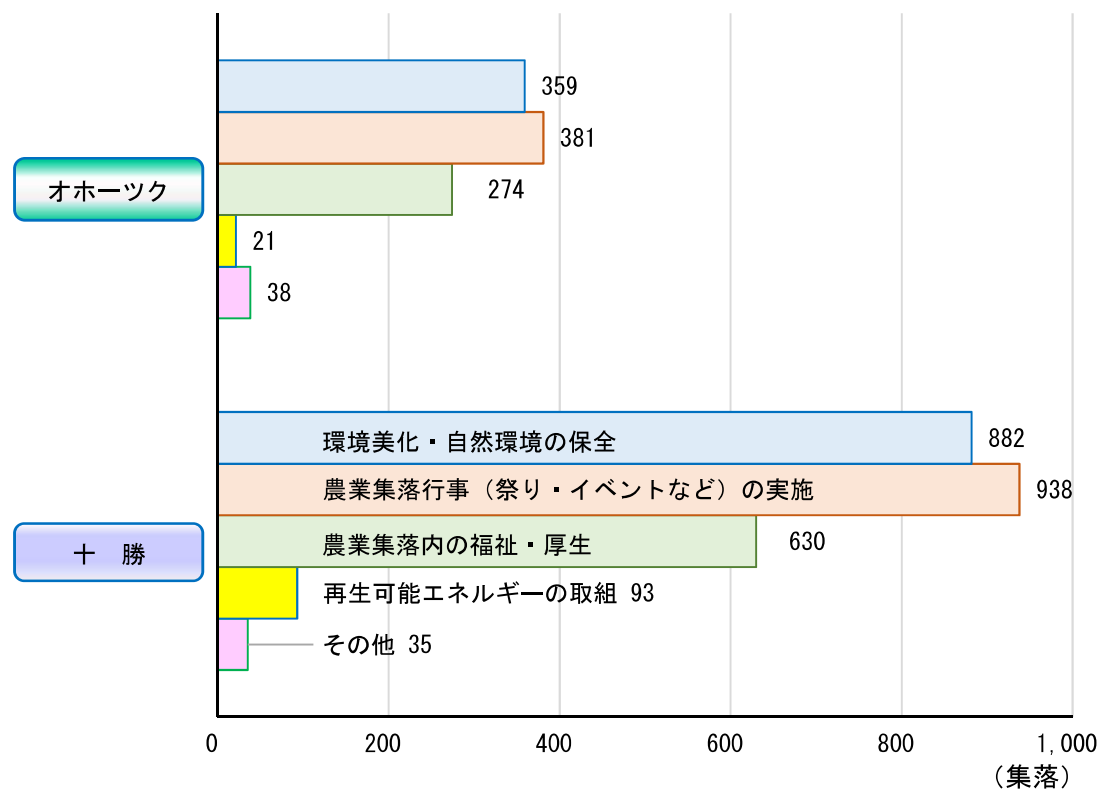


図36 過去1年間の寄り合いの議題別農業集落数（令和2年）



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

5 道東（酪農）地域①：釧路、根室／道北地域①：宗谷

- ・ 農業集落数は釧路が383集落で最も多く、次いで根室、宗谷の順となりました。また、5年前に比べて3振興局とも変動がありませんでした。（図37）
- ・ 地域資源を保全している農業集落数は、3振興局とも「農地」が最も多くなりました。（図38）

図37 農業集落数の推移

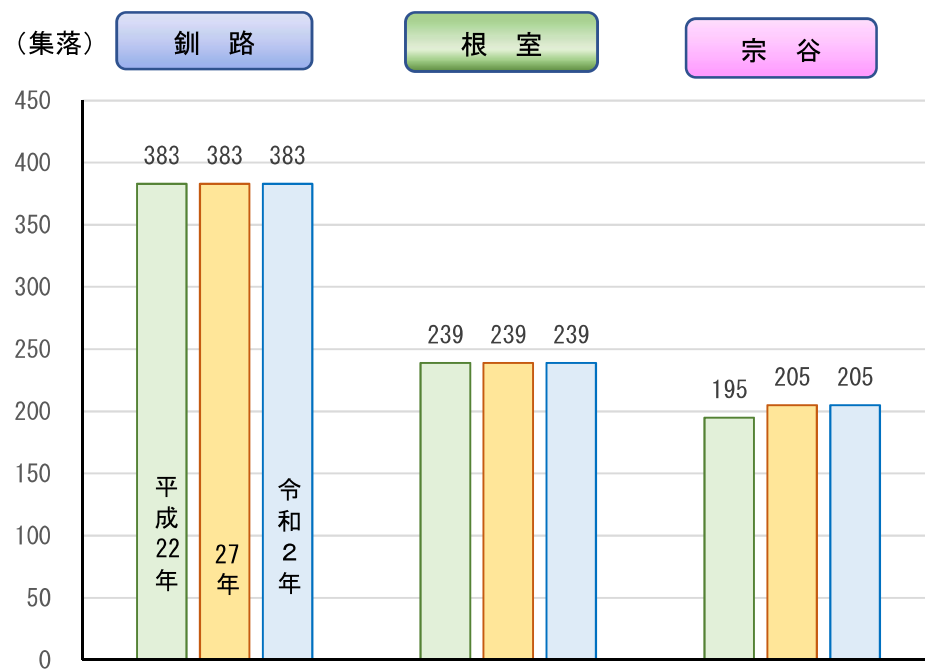
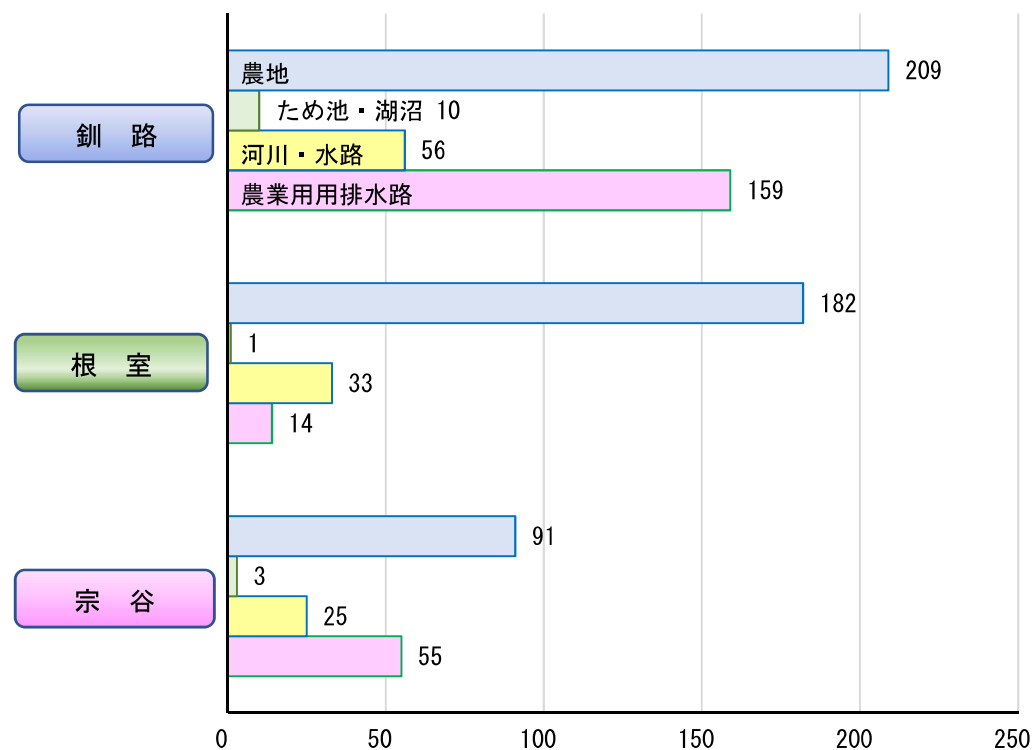


図38 地域資源を保全している農業集落数

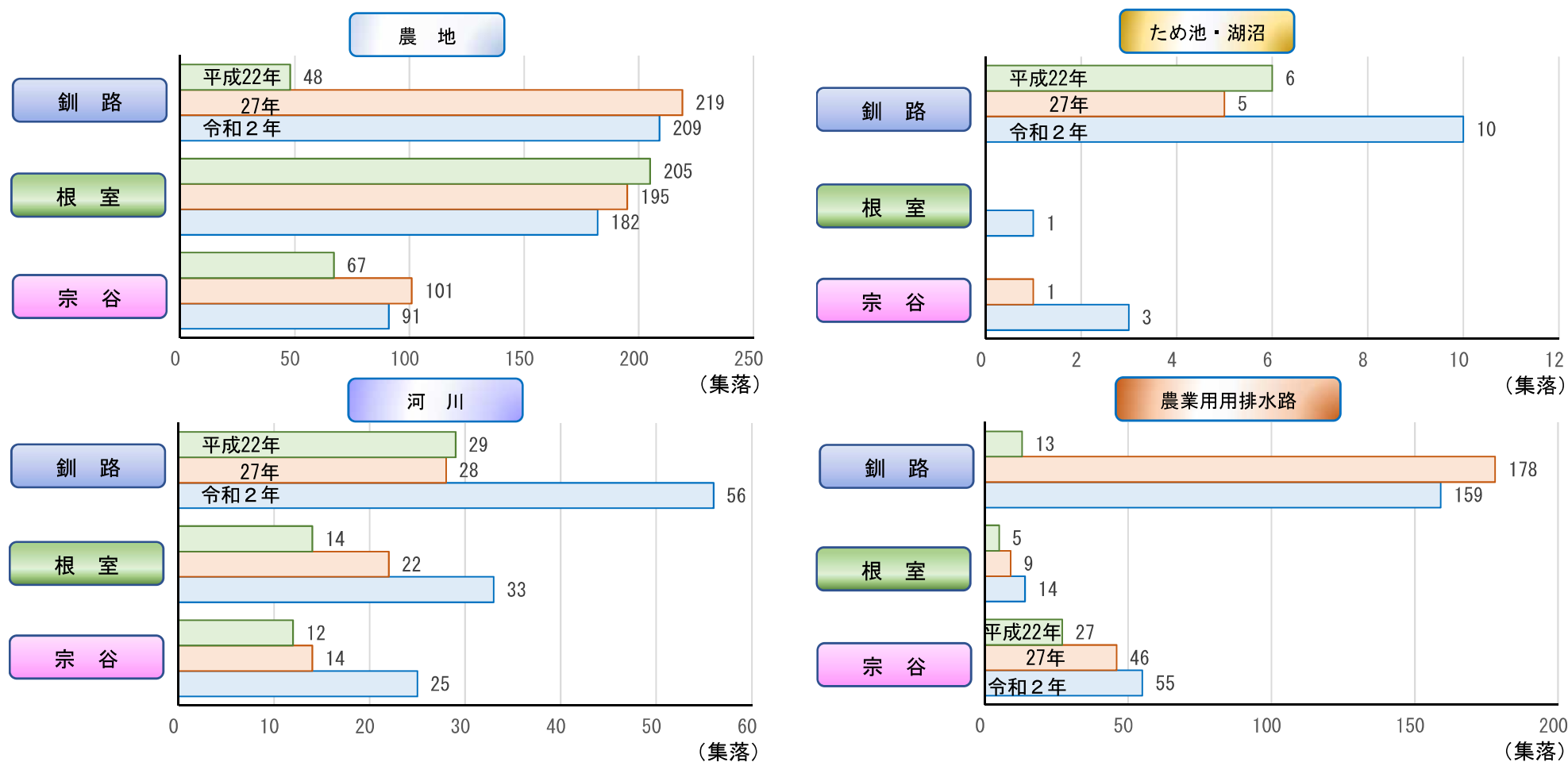


Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

5 道東（酪農）地域②：釧路、根室／道北地域②：宗谷

・地域資源を保全している農業集落数は5年前に比べて、「農地」は3振興局とも減少、「ため池・湖沼」「河川」は3振興局とも増加、「農業用排水路」は釧路のみ減少しました。（図39）

図39 地域資源を保全している農業集落数の推移



Ⅲ 振興局別の特徴（つづき）

5 道東（酪農）地域③：釧路、根室／道北地域③：宗谷

- ・ 農業集落数を寄り合いの回数規模別にみると、3振興局とも3～5回と6～11回の合計が60%以上となりました。（図40）
- ・ 過去1年間の寄り合い議題別農業集落数は、釧路は「環境美化・自然環境の保全」、根室、宗谷は「農業集落行事の実施」が最も多くなりました。（図41）

図40 寄り合い回数規模別農業集落数の構成割合（令和2年）

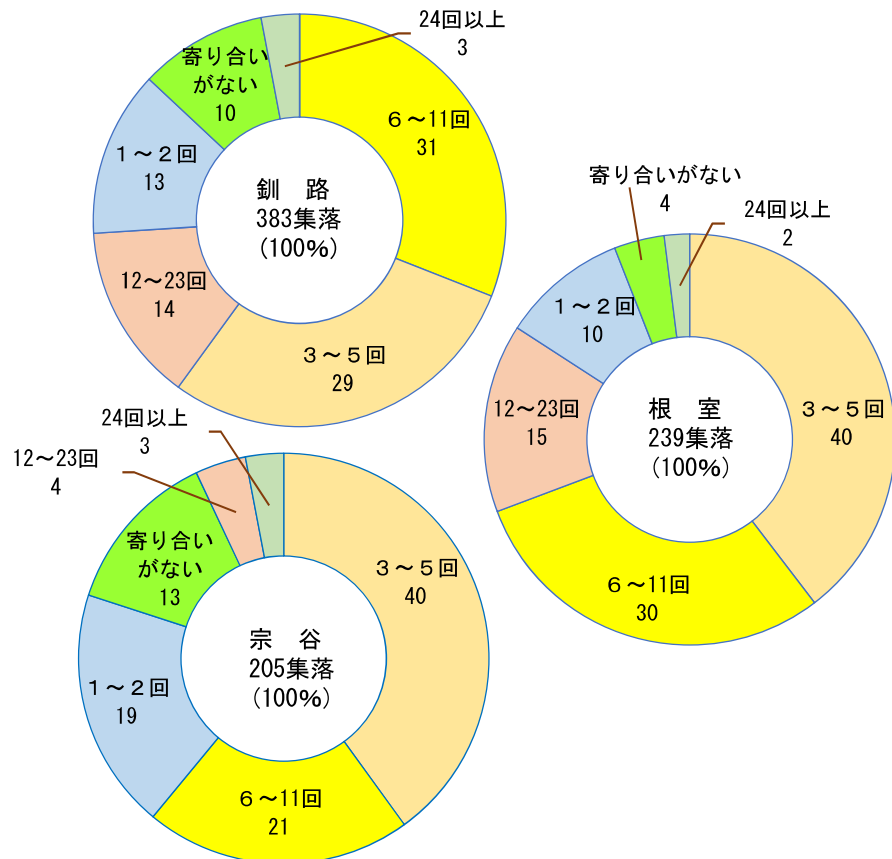
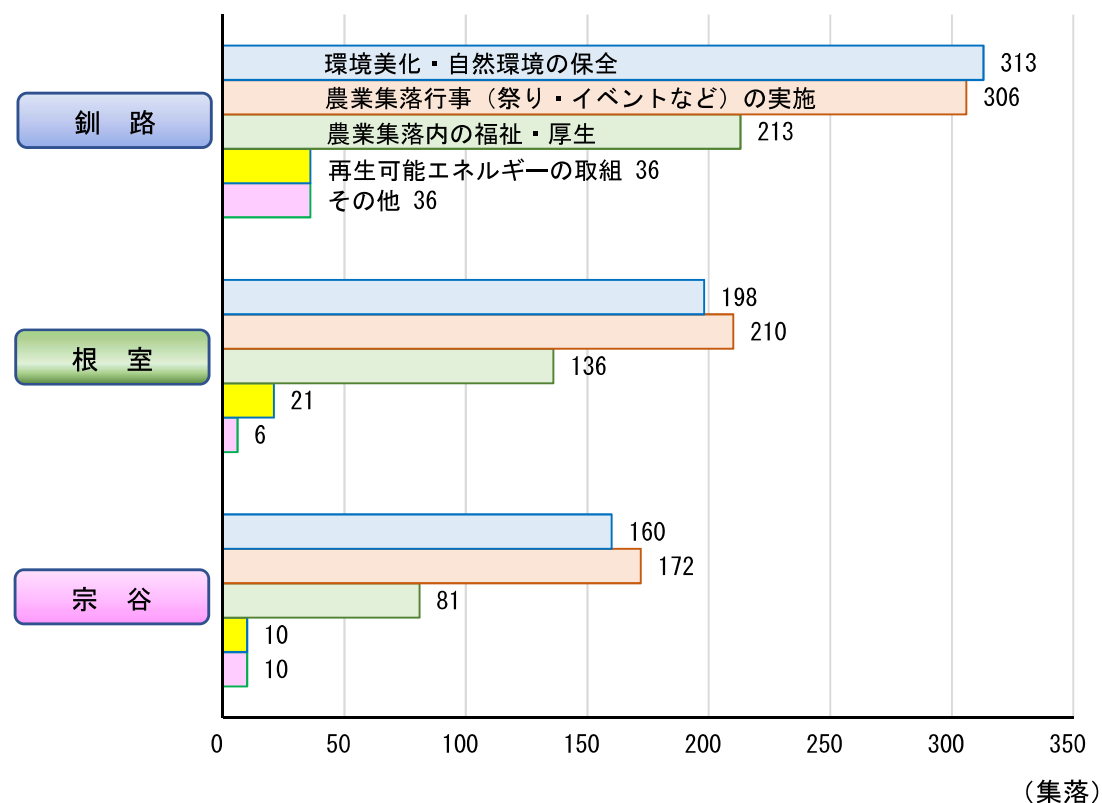


図41 過去1年間の寄り合いの議題別農業集落数（令和2年）



（集落）